

機械器具（58）整形用機械器具
管理医療機器 電動式骨手術器械 JMDN コード：709590

「インプラントモーターX」の付属品 ハンドピース

【禁忌・禁止】

- ISO 規格及び JIS 規格を満たさないサージカル用パーやドリルは使用しないこと。
- あらかじめ患者の口腔外で回転させ、異常がないことを確認すること。
- 回転中、プッシュボタンが押されないように注意すること。
- 感染防止のため、使用後は速やかに洗浄、清掃、注油、滅菌を行うこと。

【形状、構造及び原理等】

- 形状・構造
下記外観写真の通り



- 仕様

型式	ギア比	許容入力回転数	照明機能	注水方式
WP-1	20:1	40,000rpm	無	外部注水 内部注水
WP-1L			有	

- 包装

1 セット / 箱

セット内容：本体、内部注水ノズル、ノズルホルダー、分岐注水チューブ、E タイプノズル、レンチ、クリーニングノードル

【使用目的又は効果】

歯科インプラント手術の際、骨の切削、穿孔に用いるサージカル用パー・ドリルを接続し、回転させるために用いる。

【使用方法等】

【使用方法】

販売名「インプラントモーターX」の添付文書及び取扱説明書を参照のこと。

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- 使用時、また点検の際に、ガタつき、振動、音、発熱等の異常を感じた場合、直ちに使用を中止すること。
- 使用中、故障等の万一に備え、本品の予備を準備しておくこと。
- 使用するパー又はドリルに汚れ等の付着がないか確認し、清潔なものを使用すること。
- 製造販売業者が指定するパー、又はドリル以外は使用しないこと。
- 接続するモータは、JIS T 5904 (ISO 3964) に適合するジョイントを有し、最大回転数が 40,000rpm 以下であること。
- パー、又はドリルを取り付けた後に軽く引いて、確実に装着されたことを確認すること。

- 本品、及びパー又はドリルの着脱は、モータが完全に停止した状態で行うこと。
- 使用の際は、必ず注水を行うこと。
- ヘッドキャップから水漏れがないことを確認すること。
- 術部に過度の力を加えて使用しないこと。
- 予め患者の口腔外で作動させ、ブレや振動、異音、発熱等の異常がないか確認すること。

【使用上の注意】

- 本品に落下等の強い衝撃を与えないこと。
- 本品を使用の際は、保護メガネ、マスク等を着用すること。
- 使用後は直ちに洗浄、注油、滅菌を行い、血液等の付着物を放置したままにしないこと。内部に付着した血液等が凝固し、錆の発生による火傷、故障の原因となる。
- 酸化電位水（強酸性、超酸性水）、強酸、強アルカリ性の薬剤、塩素含有の溶液、ベンジン・シンナー等の可燃性溶剤を使用し、洗浄、浸漬、拭き取りを行わないこと。

【保管方法及び有効期間等】

- 水のかからない場所で保管すること。
- 気圧、温度、湿気、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない清潔な場所で保管すること。

【保守・点検に係る事項】

詳細は取扱説明書を参照すること。

- 清掃・洗浄

【ハンドピース】

- 取扱説明書に従って分解した部品に付着した汚れを中性洗剤、もしくは弱アルカリ性洗剤を使用して洗浄する。
- 洗浄液を流水でよく洗い流し、再度、取扱説明書に従って組み立てる。
- 表面の水分を拭き取る。

【外部/内部注水ノズル】

- クリーニングニードルを使用し、外部注水ノズル/内部注水ノズルを清掃する。
- 各ノズルに注水チューブを装着し、水洗する。

＜清掃・洗浄に関する注意＞

分解した部品をブラシ等でこすらないこと。ブラシ等の毛が本品内部に入り込み、故障の原因となる恐れがある。

- 注油

- 別売のスプレー式オイルに付属の E タイプノズルを取付け、本品の後部に差し込む。
- 2～3 秒間のスプレーを繰り返し、ハンドピース先端から排出されるオイルに血液等の異物がオイルに混ざらなくなるまで注油を続ける。

＜注油に関する注意＞

- 注油の際は、スプレーの圧力により、本品が飛び出さないようにしっかりと押さえておくこと。
- 内部に付着した血液等の残留により内部が腐食し、回転不足やトルク不足等の原因となるため、注油洗浄をよく行うこと。

- 滅菌

ハンドピース、内部注水ノズル、ノズルホルダーは、滅菌バッグに入れ、オートクレーブ滅菌を行う。

本品を接続する電動式骨手術器械の取扱説明書を合わせて必ずご参照ください。

滅菌条件	温度	時間
オートクレーブ滅菌	乾燥工程を含め 134℃以下厳守	4 分間

＜滅菌に関する注意＞

- 1) 乾燥工程を含めた 134℃以上のオートクレーブ滅菌は行わないこと。
- 2) 洗浄、注油をしっかりと行い、内部に血液等が付着したままオートクレーブ滅菌しないこと。
- 3) 薬液の付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌を行わないこと。変色や、内部の部品に影響を与える恐れがある。
- 4) 滅菌直後は高温となっているため、取扱いには注意すること。

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：株式会社歯愛メディカル

住所：石川県能美市福島町に 152 番地

製造業者：GUILIN WOODPECKER MEDICAL INSTRUMENT CO., LTD

（グイリンウッドベッカーメディカルインスツルメント社）

製造国：中華人民共和国